

# U40 建築賞



設計担当者

**野村直毅** | 大阪府建築士会

住居／京都府京都市

## 京都・古家を取り込む増築

構造 | 木造

階数 | 地上2階

敷地面積 | 182.39㎡

建築面積 | 101.72㎡

延べ面積 | 152.35㎡

竣工 | 令和2年9月4日



1



3



4

- 1 1階土間。奥に中庭
- 2 鳥瞰
- 3 1階中庭
- 4 1階ダイニングとキッチン。奥にリビング
- 5 2階テラス

写真…繁田 諭



5



2



2階平面図



1階平面図

### 選評

京都駅から南へ約4kmの木造住宅密集地域に敷地がある。車の流れが激しい道路に直接面していて、間口はわずか4mしかないが奥行は44mもある鰻の寝床状の敷地である。設計者自身の自邸である。

説明では、敷地に在った既存住宅の構造フレームのみを残し、それを手掛かりに空間を増築したとあるが、いわゆるリノベーションとは違って、中に入ってみると既存の存在感はまったくない。立地条件に相応しく巧みに構成され

た快適なコートハウスである。

隣接する商業施設と交渉することで、先方の外壁を窓のないコートハウスの壁として取り込んでしまうなど、心憎いほどの構築力によって作り上げられた楽しい住空間だ。玄関は将来の仕事スペースを想定しているような。二つの中庭は空間のヒエラルキーを切替える役目だけではなく、住空間に大きな広がりや豊かさを与えている。それらの間にあるのが密度の高いリビングスペースである。敷地の一番奥は、程よい幅

の、爽やかな水路に接していて、プライベートの高い場でありながら、かつ外への広がりも楽しめる。中庭を介して2階のテラスとの立体的なつながりも小気味よい。

各所に見ることができる精緻で見事なディテールへのこだわりに対しては、思わず微笑んでいる自分に気が付いてしまう。将来の作品に期待できるアンダーフォーティーである。

(可児才介)